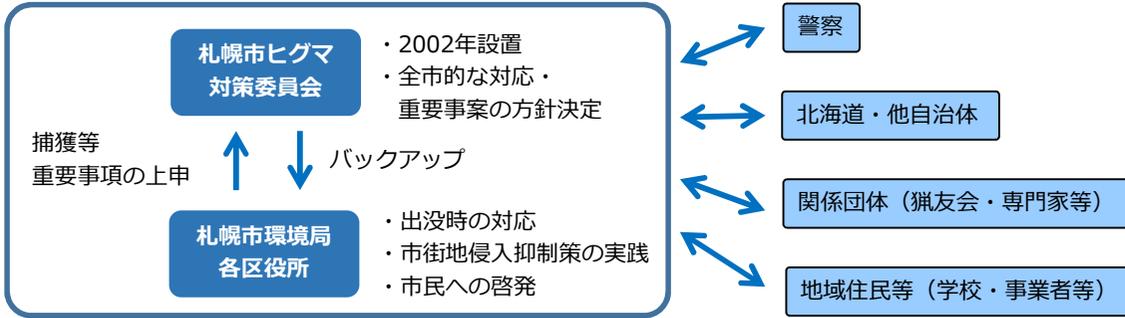
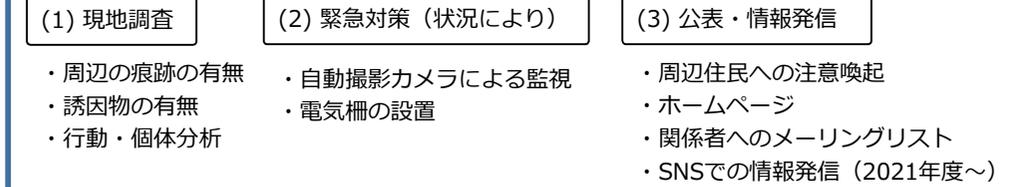


1 札幌市のヒグマ対策の体制



2 出没対応・現地調査

市民等からの通報（姿の目撃・痕跡の発見）



3 市街地侵入抑制策

(1) 電気柵の貸出、購入補助制度

- 農家向けの札幌市農業基盤整備事業（電気柵は80/100補助）
- 家庭菜園用電気柵の普及を目的に2017年度から貸出制度、2020年度から購入補助制度を開始

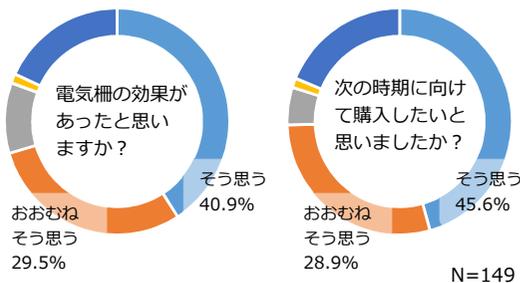
電気柵貸出件数、購入補助件数



貸出利用者の7割以上が効果を実感し購入する意向も、金銭的負担が大きく購入に至らないケース多数

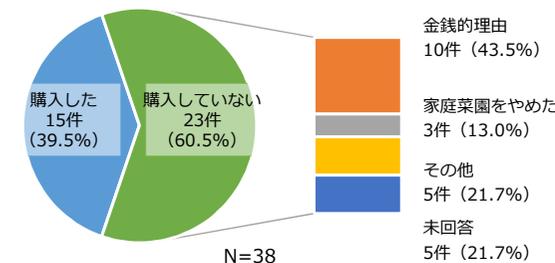
2020年度から購入補助制度を開始

貸出利用者へのアンケート（2017～2021年）



貸出利用者への事後アンケート（2019年）

- 2017.2018年に貸出事業を利用した54件名を対象38件から回答、回答率70%



(2) 緑地管理

- ・継続的な実施には、住民主体であることが望ましい
- ・地域やボランティア団体が実施主体となり、札幌市は調整役を務める

草刈り

- ・見通しを良くし、ヒグマの移動を抑制
- ・人とヒグマが不意に遭遇することも避ける

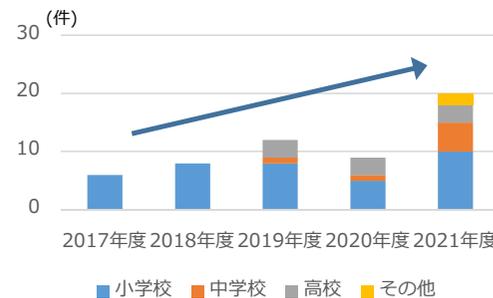
放棄果樹伐採

- ・管理されておらず、ヒグマの誘因物となり得る果樹を伐採し、ヒグマの出没抑制を目的

「ごみの管理」について要整理

4 普及啓発

(1) ヒグマ講座



(2) 痕跡探しバスツアー

- 2019年度から
- 講義～定山溪自然の村で痕跡を見て回る
- 申込み多数、参加者の満足度も高く好評

(3) フォーラムその他

- 区役所でのパネル展やフォーラム開催など
- 啓発品の制作？